

独立行政法人 経済産業研究所 (RIETI)

BBL セミナー資料

2015年3月26日

「活力ある地域は何が違うのか？
—地域を元気にする処方箋—」

木村 俊昭

<http://www.rieti.go.jp/jp/index.html>



『地域活性化の動向』 「活性化のポイント（ものさし）、部分・個別最適から全体最適へ」

～地域ビジネス創出、農商工等連携・6次産業化の全国・海外事例を交えて～

○要 旨

今、地域では人口減や高齢化、合併後の中山間地域の対応など、解決すべき諸課題が山積している。そこで、地域を活性化するには、どういうことなのであろうか。「Why so?」「So what?」思考を常に持つこと。最初のデザイン設計時点で、一部の地域の一部の皆さんの取組としては、徐々に広がるということも、継続・進化もできそうにない。地域内にできる限り広がりを持ち、継続・進化させる創意工夫が重要である。

まち全体の最もよい状況を地域一体となつてつくりあげること、この政策・構想はどの位の皆さんの関わり、広がりとなり得るのか、すなわち「全体最適」を当初にデザイン設計する必要がある、今、地域が「部分最適」となっている場合は、地道に関連付けをしていく必要がある。今、求められる人財は、怒と志、①目配り、②気配り、③心配りでき得る、リーダー・プロデューサー役である。

では、地域を活性化するためのポイント（ものさし）とは何か。私は、全国各地で多くの現場の皆さんと接してきた。実学・現場重視の視点で、主に農林水産業や製造業・サービス業の皆さんに接し、実感するのは、活性化のポイントとして、①地域所得・売上げの向上（事業構想）、②地域人財養成と定着のシステム化、③地域で汗する人を評価する仕組みづくり、④女性、若手、年配者の活躍する場づくりと支援体制、⑤まちの将来を見据えた新たな産業興しが重要ということである。自らのまちの地域資源をしっかりと知り気づき行動に移すこと、そして、地域ビジネス創出、農商工等の連携・6次産業化など、関連付けをして有効に活用、発展させることである。そのためには、まちで30～40年間程を常勤者として勤める行政、商工会議所・商工会、農協・漁協、地域金融機関の職員、小中高校の教員などが、それぞれに持つまちの情報を共有し、一体感を持って、役割分担が必要である。例えば大学等を場として、地域が主体性を持ち、地域活性化策を構想・実現することが必要となる。政策を継続・進化させるために、「笑顔、感動と感謝のまちづくり」を実現しましょう！

参考事例としては、①山形県東根市の「遊育」による人口増の実現、②宮崎県日南市の商業ゾーン再生、③秋田県由利本荘市の20代～40代の次世代人財養成塾の開塾、④鹿児島県鹿屋市の町内会（やねだん）の全員野球による活性化、⑤北海道網走市のエミューによる地場産業振興、⑥スイス手づくり時計の巻き返し展開策の実践などがある。

○略 歴

1960年北海道生まれ。1984年に小樽市入庁。財政部、議会事務局、企画部、総務部を経て経済部産業振興課長、企画政策室主幹（プロジェクト担当）、産業港湾部副参事（次長職）。2006年から内閣官房・内閣府に出向し、企画官（地域活性化担当）として、主に地域再生策の策定、地域と大学の連携、政府広報活動等を担当。地方再生戦略では九州圏・沖縄県担当。内閣府経済社会総合研究所特別研究員として、地域活性化研究を内閣府へ報告。2009年から農林水産省大臣官房企画官として、主に農林水産業を中心とした活性化、農商工連携・6次産業化などを担当。現在は、東京農業大学教授、コミュニティプロデューサー、公益社団法人日本青年会議所アドバイザー・褒賞委員兼地域プロデューサー育成塾長、一般社団法人北海道活性化機構代表理事、一般社団法人五感六育ファーム代表理事、スーパー公務員塾長、地域活性化学会理事（北海道支部長）などとして、北海道はじめ全国各地、年間120箇所程で講演・現地アドバイスを実施中。



○研究分野 地域ビジネス論、戦略的システムデザイン・マネジメント論、地域活性化戦略論、地域産業経営論

○著 書

『地域づくり新戦略—自治体格差時代を生き抜く』（第7章を執筆・一藝社）、『地域ブランドと産業振興—自慢の銘柄づくりで飛躍した9つの市町村』（第1章を執筆・新評論）、『「できない」を「できる！」に変える』（実務教育出版）ほか。NHKプロフェッショナルDVD「仕事の流儀 公務員

木村俊昭の仕事」。木村俊昭のブログ <http://kimutoshi.jugem.jp/>

地域活性化学会 <http://www.hosei-web.jp/chiiki/>

木村俊昭のスーパー公務員塾を開講。 ※フェイスブック、ML（KMT）でネットワークを構築中。

月刊誌や日刊新聞に「地域資源発掘隊長・木村俊昭」として地域活性化記事を連載中。

2011年9月30日から全国書店で発売！

『自分たちの力のできる「まちおこし」～18の地域で起きた小さな奇跡～』（実務教育出版）

※ぜひ、地域活性化の情報交換、ネットワークとしてフェイスブック、ML（KMT）に参加ください！

木村俊昭ブログ、ツイッタをご覧ください！

○木村俊昭の連絡先 講演・現地アドバイス等の依頼 ☆メールアドレス vida@etude.ocn.ne.jp

- ・毎日フォーラム、月刊「旅行読売」ほか 地域資源発掘隊長・地域通信員として地域活性化記事を連載中!
- ・今井出版「知られざる日本の地域力」共著 (2014年12月10日発売)
- ・BSジャパン「日経プラス10」生放送 (2014年10月23日出演) 22時～「地方創生」～五感六育の実践
- ・BSフジ「プライムニュース」生放送 (2014年10月3日出演) 20時～「地方創生」総務大臣、自民党地方創生本部長
- ・毎日フォーラム「木村俊昭の地域を変えるチカラ」(2014年10月号) 空き商業ビル再生モデルの実現!
- ・光村図書かざぐるま通信No29「学校がまちづくりの鍵になる」学校とともに取り組む地域活性化
- ・ラジオ日本「マツ安川のズバリ勝負!」(2013年12月20日出演) 12時45分「できない」を「できる!」に変える
- ・九州KBCラジオ「竹内裕之 That's On Time」(2013年12月13日出演) 7時35分 地域経済の活性化
- ・テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ!」(2012年3月2日出演) 22時～23時 地方の元気
- ・BSフジ「プライムニュース」2時間生放送 (2011年12月14日出演) 20時～22時 地域活性化
- ・「カガリ火」(2011年6月発行139号) 木村俊昭のまちづくり仕事術 32～34ページ
- ・財団法人堺市都市整備公社「FRESHEN」(2011年4月1日発行・第28号) 1～5ページ
- ・財団法人大阪府市町村振興協会「トップセミナー講演録」(2011年3月発行22号) 31～53ページ
- ・公益社団法人日本青年会議所『人の絆がまちをデザイン』(2011年1月18日発売)
「ひととまちを元気にする仕事術」 78～91ページ
- ・フジテレビ「新報道2001」(2010年12月26日生出演・7時～8時54分)
- ・日本経済新聞社『達人たちの仕事術』日経新聞×電子版活用法 (2010年10月22日発行)
情報を活かすとは、情報を組み合わせて新しい価値を作ること 54～57ページ
- ・日本青年会議所WeBelieve (2010年10月号) 成功するまちづくり相澤弥一郎会頭との対談4～9ページ
- ・メセナnote (Autumn 2010) 特集クリエイティブの現在 地域価値を見直し独創的に発想12～13ページ
- ・週刊エコノミスト (2010年8月3日号) ワイドインタビュー 問答有用
地域活性化の第1の条件は平均所得を上げること 44～47ページ
- ・大丸有CSRレポート2010 1000年続くまちへ (2010年7月発行)
まちづくりは人づくり 2050年へのまなざし 16～17ページ
- ・市町村アカデミー (アカデミア 2010年夏号 (第94号) 新連載 カリスマ公務員 第1回
12～15ページ 産業文化の発信と人材の育成が原点—ガラスの街小樽としてのブランド化に成功—
- ・毎日フォーラム 日本の選択 (2010年5月号) 8～9ページ
継続と広がりがある地域全体の「最適化」を目指せ 公務員に今こそ求められる住民の目線と人脈づくり
- ・高1マイビジョン「シゴトのチカラ 公務員 木村俊昭」(株)ベネッセコーポレーション (2010年5月号)
- ・全国市町村国際文化研修所「国際文化研修」(2010年春vol.67) 現場から見た「地域活性化」とはどういうことか?
- ・NHK「プロフェッショナル」DVD「仕事の流儀 木村俊昭の仕事」(2010年3月26日発売)
- ・BSフジ「プライムニュース」2時間生放送 (2010年2月17日出演) 20時～22時 地域活性化
- ・旅行読売 (2010年3月号) 新刊紹介『「できない」を「できる!」に変える』144ページ
- ・毎日フォーラム (2010年3月号) BOOK REVIEW 『「できない」を「できる!」に変える』
- ・NHK「プロフェッショナル」制作班・茂木健一郎編著 (2010年1月10日・NHK出版・新生活人新書)
プロフェッショナルたちの脳活用号2／育ての極意とアンチエイジング
- ・実務教育出版 『「できない」を「できる!」に変える』(2010年1月16日発売)
- ・コロンブス (2010年1号) 編集長インタビュー
- ・キズナ食堂 (2009年11月～12月、2010年2月～3演出演) TBSテレビ番組19時～
http://www.tbs.co.jp/kizuna_Dining/ 爆笑問題さん、黒柳徹子さんほか。
- ・致知 (2009年11月号) コープさっぽろ理事長との対談
- ・UR都市機構 (2009年10月号) これからの地域と経済 作家・幸田真音さんとの対談
- ・市政 (2009年10月号) インタビュー「人」・ガバナンス (2009年9月号) 全体の最適化の視点
- ・文部科学省：生涯学習 2009年10月号・9月号 「学びの仕掛人」
- ・地方議会人 (2009年9月号) 地域活性化の動向 ～今、地域では何が必要か～
- ・宣伝会議 (2009年6月号) 地域活性化とマーケティング 野田一夫さん、清成忠男さんとの対談
- ・全国市町村国際文化研修所 (J I A M) 分権時代の自治体職員 (第57回)
<http://www.jiam.jp/melmaga/newcontents/newcontents58.html>
- ・情熱経営フェスタ (船井総合研究所) <http://passion-web.jp/festa2009/taidan/kimura.php>
- ・NHKプロフェッショナル「仕事の流儀 木村俊昭の仕事」(2009年5月19日放送、5月25日再放送)
<http://www.nhk.or.jp/professional/backnumber/090519/index.html>